

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	消防防災施設整備費補助金に必要な経費		担当部局庁	消防庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和28年度～		担当課室	消防・救急課		課長 横田真二	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ-4 消防防災体制の充実強化			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律第4条第1項 地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律施行令第2条 地震防災対策特別措置法第4条第1項 地震防災対策特別措置法施行令第3条		関係する計画、通知等	地震対策緊急整備事業計画 (地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律第2条に基づく計画) 地震防災緊急事業五箇年計画 (地震防災対策特別措置法第2条に基づく計画)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	消防防災施設整備費補助金は、地震等の大規模災害や特殊災害、増加する救急需要等に適切に対応し、住民生活の安心・安全を確保するため、消防防災施設のうち、特に重要なものの整備を国として促進するための補助金である。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○補助対象者 指定都市を除く市町村(市町村の加入する一部事務組合及び広域連合を含む。) ○補助対象施設 耐震性貯水槽、高機能消防指令センター総合整備事業等 ○補助率 総務大臣が定める基準額の1/3、1/2(一部過疎地域や離島地域等の嵩上げ(5.5/10)) 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	3,161	3,066	910	722	722
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	-70	-320	539	19	
	計	3,091	2,746	1,449	741	722	
	執行額	2,776	2,658	1,408			
執行率(%)	89.8%	96.8%	97.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	消防水利の基準に基づく整備率	成果実績	%	80.4	-	-	100
		達成度	%	80.4	※整備率の調査は3年に1回実施(H21年度実施)		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	補助金交付件数	活動実績	件	666	673	199	250
単位当たりコスト	-	算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	消防防災施設整備費補助金	722	722	予算規模は前年度と同額 積算内訳を見直し			
	計	722	722				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、地震等の大規模災害や特殊災害、増加する救急需要等に適切に対応し、住民生活の安心・安全を確保するため、地方公共団体が行う消防防災施設の整備を国として促進するための補助金である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づき、適正に支出されている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業により地方公共団体が整備する消防防災施設のうち、特に重要な耐震性貯水槽や消防指令センター等の整備が促進された。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、大規模災害や特殊災害による被害を最小限に抑え、国民の安心・安全を確保するため、関係法令により整備の必要性が認められ、補助率の嵩上げ措置を講じられている消防防災施設を戦略的・重点的に整備するために必要な補助金であることから、継続して平成25年度概算要求を行う。</p> <p>なお、本補助金については、「地域主権戦略大綱（平成22年6月22日閣議決定）」に基づき、平成23年度より都道府県が、平成24年度より政令指定都市が、地域自主戦略交付金及び沖縄振興公共投資交付金の対象となっており、内閣府において当該交付金の所要額が確保されているところ。平成25年度以降も、引き続き本補助金及び両交付金の所要額を確保することが必要。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き適正な執行に努める。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	現行案どおりの予算規模にて要求を行い、適正かつ効果的な予算執行に努める。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>事業仕分け第1弾 事業番号：1-32 事業名：消防関係補助金(1)消防防災施設整備費補助金 WGの評価結果：自治体／民間の判断(WGの議論を踏まえ、補助金のあり方を見直す) とりまとめコメント：意見が分かれたが、当ワーキンググループとしては、自治体の判断に委ねることを結論としつつ、(多額の不用、零細補助金の問題といった)ワーキンググループでの議論を踏まえ、現在の補助のあり方について見直しを行うべきである。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0181	平成23年行政事業レビュー	0175

※平成23年度実績を記入

消防庁
1,408百万円

消防防災施設整備費補助金の交付



A. 地方公共団体
1,408百万円

消防防災施設の整備

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 静岡県浜松市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅲ型)	210			
計		210	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県浜松市	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅲ型)の整備	210	-	-
2	静岡県磐田市	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅲ型)の整備	195	-	-
3	富山県	広域訓練拠点施設整備事業等の整備	118	-	-
4	大阪府高槻市	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅱ型)の整備	105	-	-
5	広島県備北地区消防組合	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅱ型)の整備	98	-	-
6	愛知県知多中部広域事務組合	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅲ型)の整備	94	-	-
7	福島県会津若松地方広域 市町村圏整備組合	高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅱ型)の整備	61	-	-
8	徳島県美馬市	耐震性貯水槽(飲料水兼用60m ³ 型)の整備	17	-	-
9	千葉県成田市	耐震性貯水槽(40m ³ 型)の整備	13	-	-
10	高知県高幡消防組合	耐震性貯水槽(40m ³ 型)の整備	12	-	-